

2026年3月期 第1四半期決算説明

2025年8月8日



目次

連結業績サマリー

第1四半期決算ハイライト

通期業績予想

<参考> DATA FILE

2026年3月期
第1四半期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

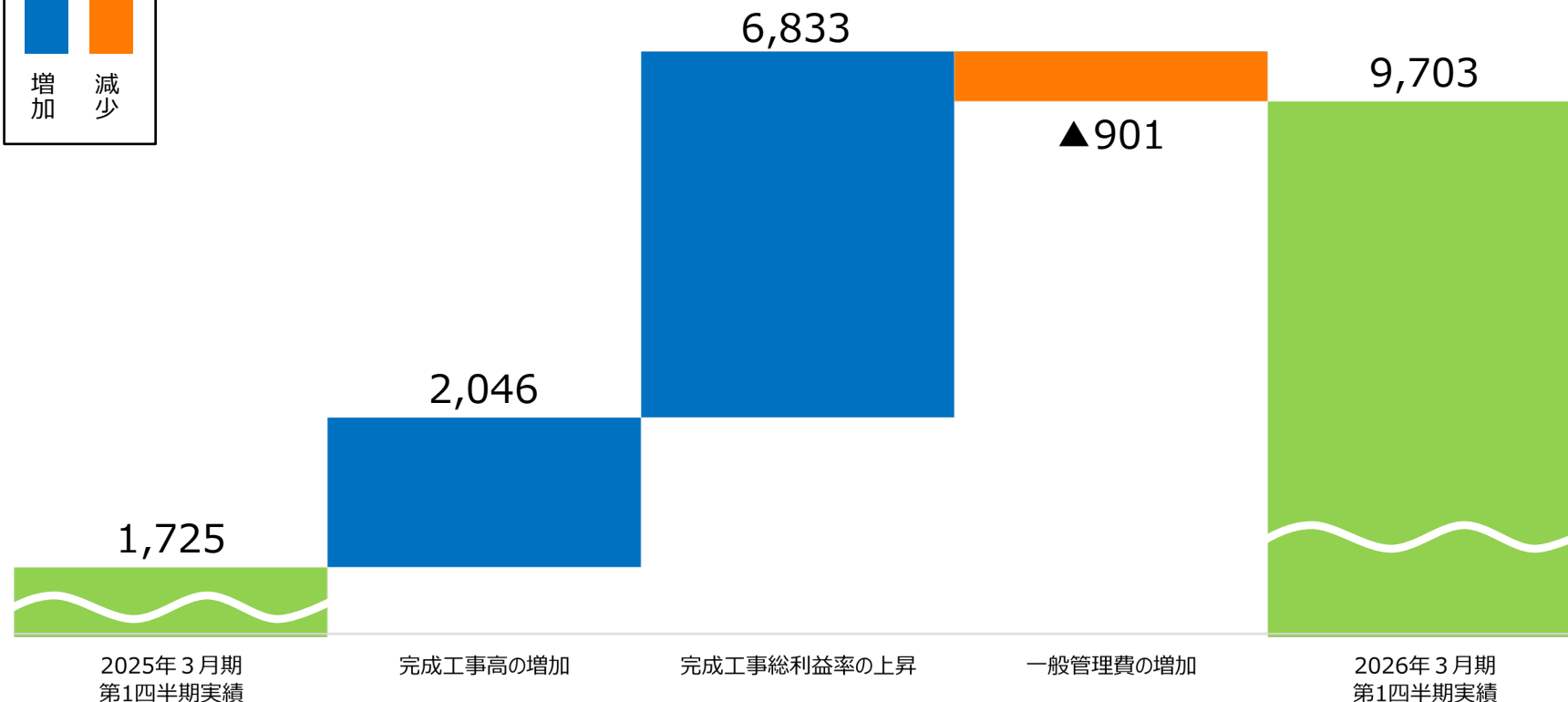
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	239,861	258,400	18,539	7.7%
受注工事高	74,864	66,492	▲8,372	▲11.2%
完成工事高	44,325	60,147	15,822	35.7%
完成工事総利益	5,731	14,610	8,878	154.9%
完成工事総利益率(%)	12.9%	24.3%	11.4p	—
営業利益	1,725	9,703	7,978	462.5%
営業利益率(%)	3.9%	16.1%	12.2p	—
経常利益	2,125	10,066	7,940	373.6%
経常利益率(%)	4.8%	16.7%	11.9p	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,306	6,885	5,578	426.8%
四半期純利益率(%)	2.9%	11.4%	8.5p	—

事業環境及び当社の概要

- 受注工事高は、前期比減となりましたが、引き続き高水準で推移しています。
 - 完成工事高及び完成工事総利益は、前期より繰り越した大型工事が竣工し、あわせてお客様との交渉等により採算が改善したことにより、大きく増収増益となりました。
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記、完成工事総利益の増加が一般管理費の増加等を吸収したことにより、増加しました。
- 以上の結果、増収増益となりました。

連結営業利益増減の内訳

(単位：百万円)



- 完成工事高及び完成工事総利益は、前頁に記載の理由により増加しました。
- 一般管理費は「ベースアップに伴う従業員給料の増加」、「現場業務効率化・事務作業効率化等をはじめとするDX投資」等の費用により、増加しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率
受注工事高	空調衛生工事	66,248	56,419	▲9,829	▲14.8%
	電気工事	8,616	10,072	1,456	16.9%
	合 計	74,864	66,492	▲8,372	▲11.2%
完成工事高	空調衛生工事	38,395	48,649	10,254	26.7%
	電気工事	5,929	11,497	5,568	93.9%
	合 計	44,325	60,147	15,822	35.7%
繰越工事高	空調衛生工事	240,033	231,206	▲8,826	▲3.7%
	電気工事	30,367	33,538	3,170	10.4%
	合 計	270,400	264,744	▲ 5,656	▲2.1%

- 空調衛生工事

- ✓ 受注工事高は、前期比減となりましたが、引き続き高水準で推移しています。
- ✓ 完成工事高は、大型の産業施設工事が順調に進捗したことにより増加しました。

- 電気工事

- ✓ 中期経営計画で「変革する事業」に位置付けた電気工事の受注拡大に注力しています。
- ✓ 完成工事高は、手持ち工事が順調に進捗したことにより増加し、また、繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回ったことにより増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	109,206	110,640	1,433	1.3%	利益剰余金の増加
総資産	215,309	181,874	▲33,435	▲15.5%	借入金の返済及び仕入債務の減少
1株当たり純資産（BPS）	2,495.45円	2,528.78円	33.34	1.3%	株価の上昇に伴いPBRが改善 （参考）2025年 3月 株価終値：3,710円 2025年 6月 株価終値：4,445円
株価純資産倍率（PBR）	1.49倍	1.76倍	－	－	
自己資本比率	49.7%	59.7%	10.0p	－	上記、負債の減少に伴う

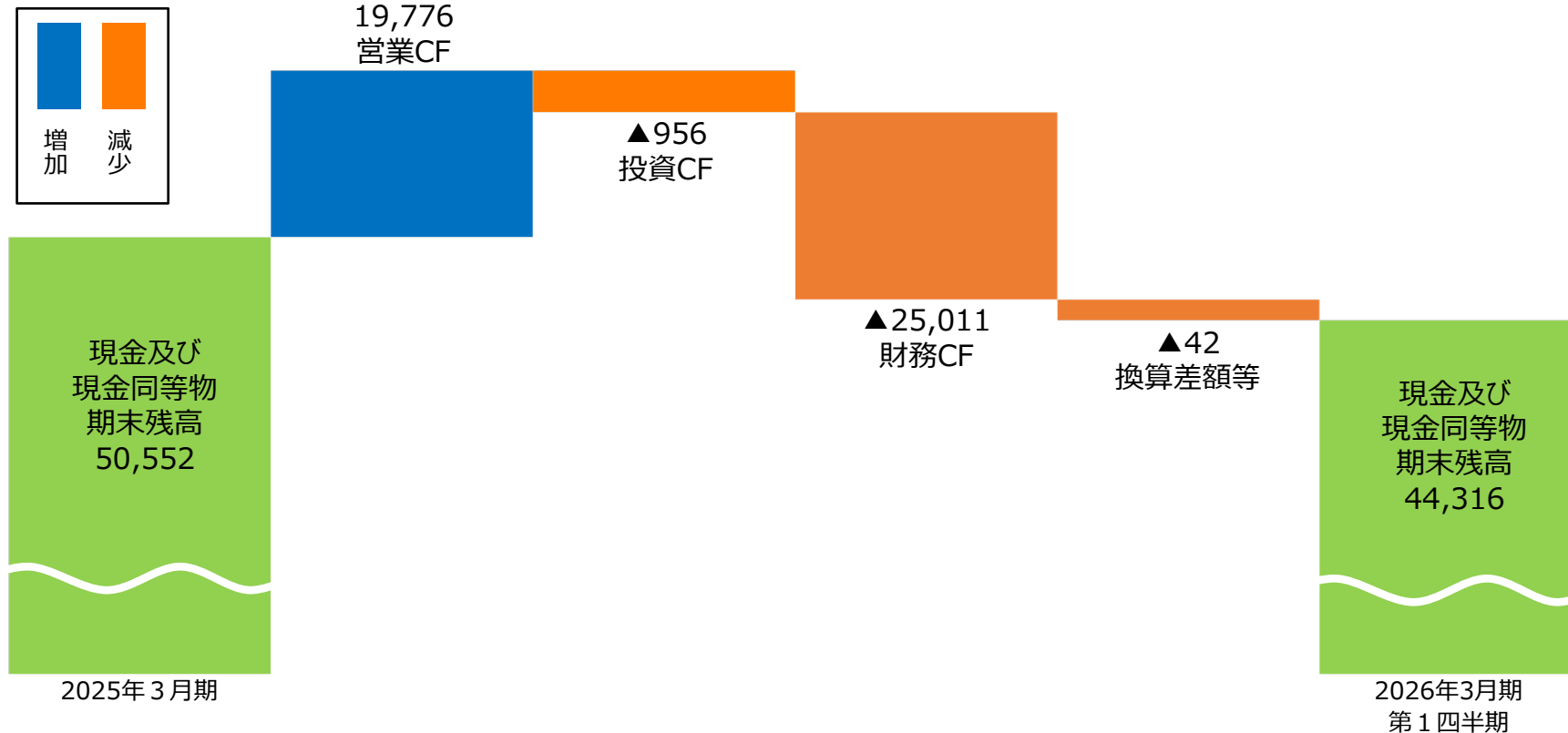
連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	552	19,776	19,223	－	売上債権の回収が順調に進んだため
投資活動によるCF	▲218	▲956	▲738	－	有形固定資産・保証金等の支払
財務活動によるCF	18,056	▲25,011	▲43,068	－	運転資金確保のための借入金を返済したため
現金及び現金同等物の期首残高	22,665	50,552	27,886	123.0%	
現金及び現金同等物の増減額	18,585	▲6,376	▲24,962	－	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	41,250	44,316	3,065	7.4%	

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）



- キャッシュ・フローの内訳は、営業CF（売上債権の回収が順調に進んだため）、投資CF（有形固定資産・保証金等の支払）、財務CF（営業CFの増加を受け、運転資金確保のための借入金を返済したため）それぞれの要因により、増減しております。

2026年3月期
第1四半期決算

第1四半期決算 ハイライト

リニューアル・直接工事の状況

(単位：百万円)

	2025年3月期			2026年3月期	前期比	
	第1四半期	第2～第4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
リニューアル工事	29,798	81,202	111,000	30,951	1,152	3.9%
リニューアル比率(%)	39.8%	39.3%	39.5%	46.5%	6.7p	－
大・中規模 の改修工事	17,089	34,675	51,765	12,438	▲4,651	▲27.2%
小規模 の改修工事	12,708	46,527	59,235	18,512	5,804	45.7%
新築工事	45,066	125,203	170,270	35,541	▲9,525	▲21.1%
受注工事高合計	74,864	206,406	281,271	66,492	▲8,372	▲11.2%
うち、直接受注	30,041	109,936	139,977	30,224	183	0.6%
直接比率(%)	40.1%	53.3%	49.8%	45.5%	5.3p	－

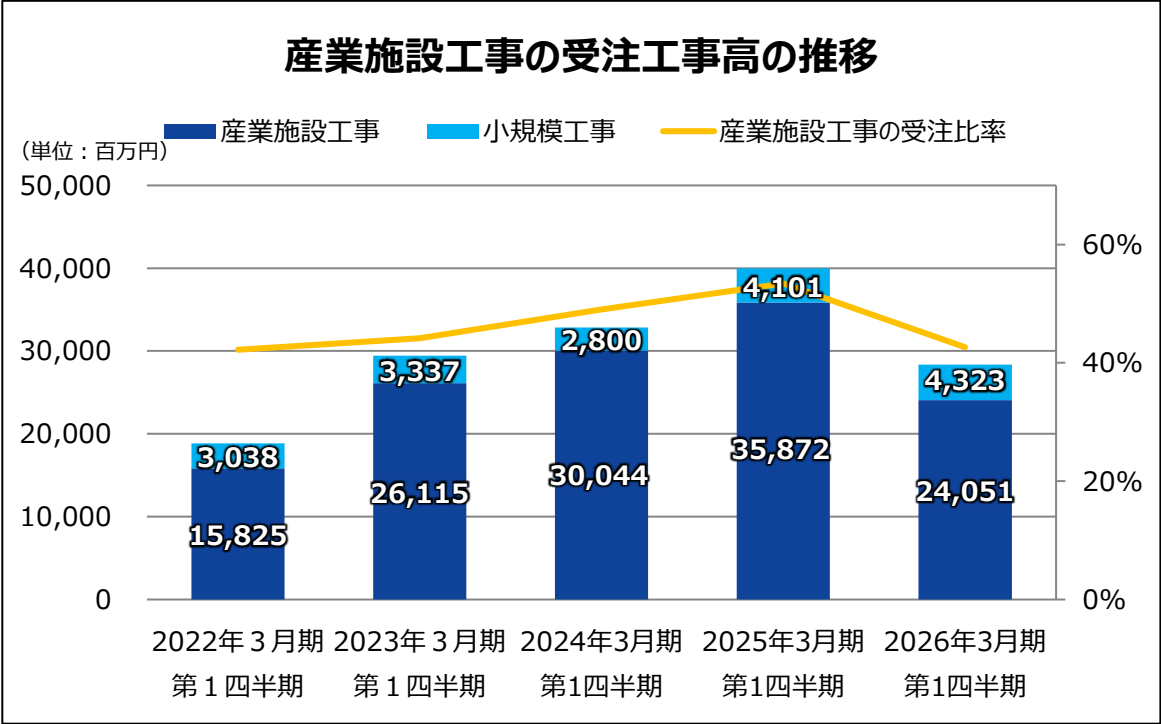
- リニューアル工事の受注工事高は、大・中規模の改修工事が減少したものの、小規模の改修工事受注が増加したことにより、前期と比べ増加しました。
- 新築工事の受注工事高は、前期比減となりましたが、引き続き高水準で推移しています。
- 直接受注は、小規模改修工事の受注により増加し、直接比率は45.5%となりました。

産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2025年3月期			2026年3月期	前期比	
	第1四半期	第2～第4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
産業施設工事合計	39,972	122,829	162,802	28,374	▲ 11,598	▲29.0%
(受注比率%)	53.4%	59.5%	57.9%	42.7%	▲ 10.7p	－
受注工事高合計	74,864	206,406	281,271	66,492	▲ 8,372	▲11.2%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。



- 産業施設工事の受注工事高および受注比率は前期比減となりましたが、通期では前期並みの受注を確保できる見込みです。

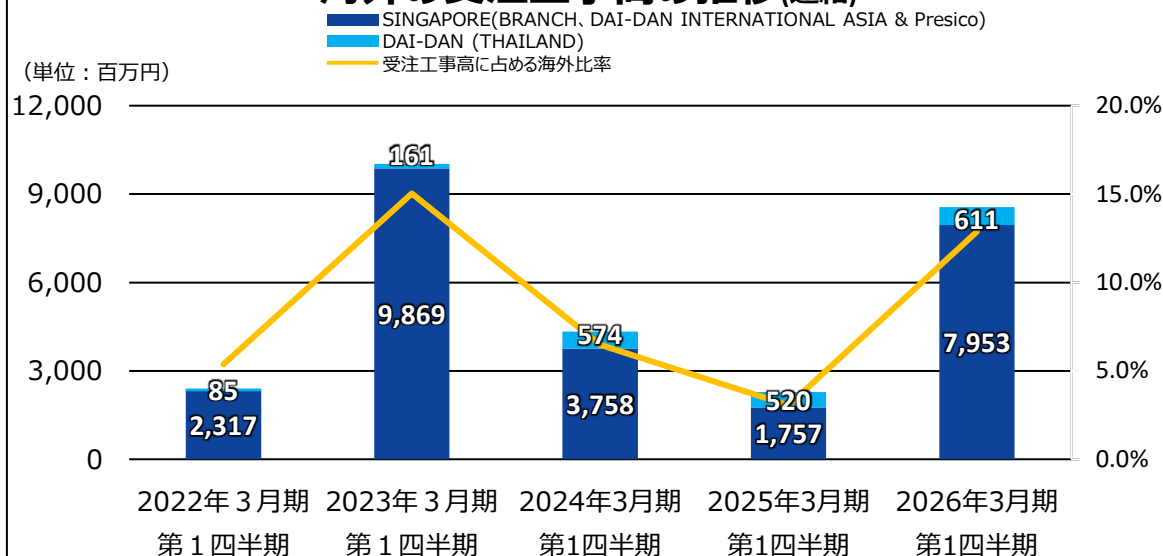
海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、DAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.、及びPresico Engineering Pte.Ltd.）、タイ（DAI-DAN（THAILAND） Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN（VIETNAM） Co.,LTD.）及び台湾（台湾大暖股份有限公司）を拠点に活動しています。

（単位：百万円）

	2025年3月期			2026年3月期	前期比	
	第1四半期	第2～第4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	2,277	37,593	39,870	8,564	6,287	276.1%
（受注比率%）	3.0%	18.2%	14.2%	12.9%	9.8p	－
受注工事高合計	74,864	206,406	281,271	66,492	▲ 8,372	▲ 11.2%

海外の受注工事高の推移(連結)

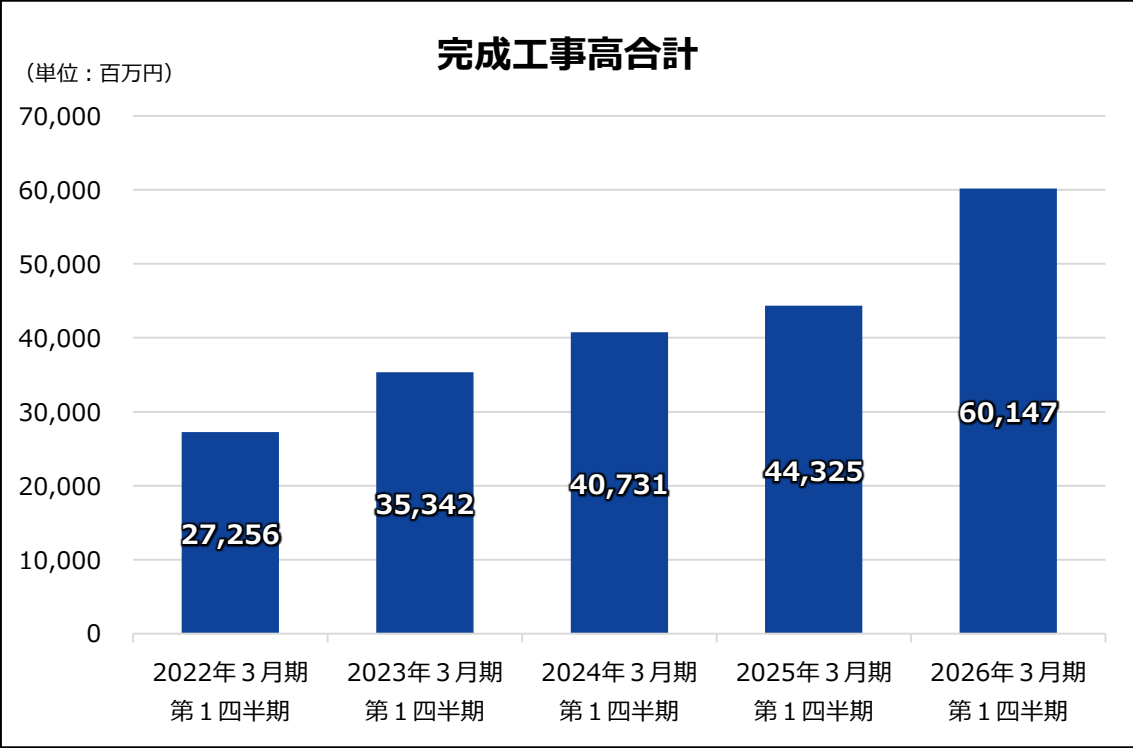


- シンガポールは、大型プロジェクトの研究施設の追加受注及び前第4四半期よりPresico社を連結子会社化したことにより、全体で大幅な増加となりました。
- 上記の結果、受注工事高は前期と比べ、6,287百万円増の8,564百万円となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期		2026年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	44,325	100.0%	60,147	100.0%	15,822	35.7%
(リニューアル工事)	14,290	32.2%	16,716	27.8%	2,426	17.0%
(産業施設工事)	18,094	40.8%	34,242	56.9%	16,148	89.2%
(海外工事)	3,089	7.0%	5,345	8.9%	2,256	73.1%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

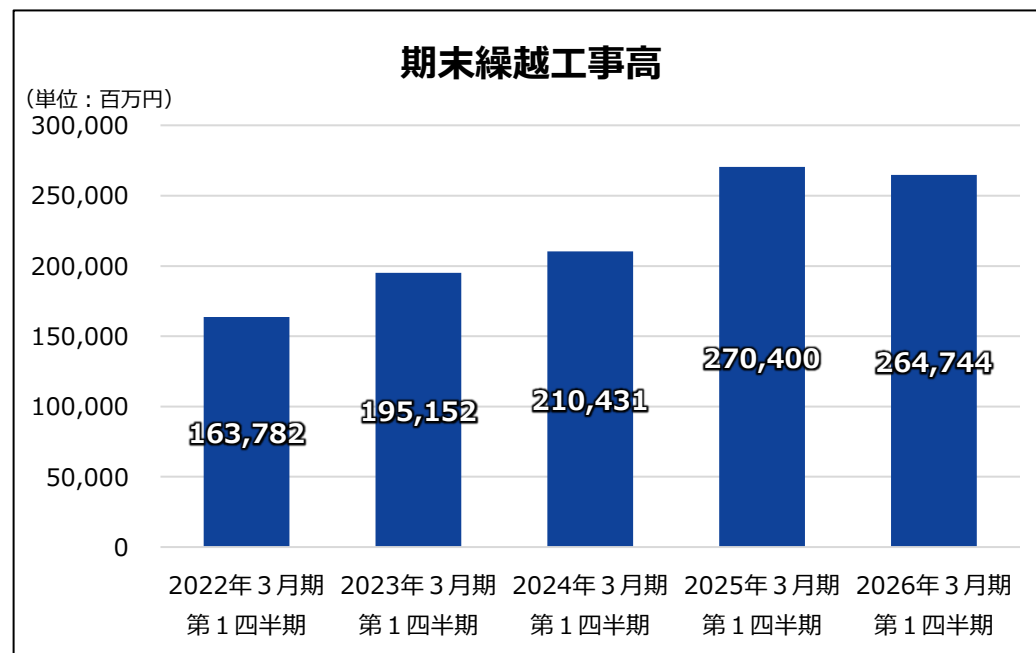


- 完成工事高は、前期から繰り越した大型の産業施設工事等が進捗したことにより、増加しました。
- 上記の結果、産業施設工事の構成比が56.9%と上昇しました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期		2026年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	239,861	—	258,400	—	18,539	7.7%
受注工事高	74,864	—	66,492	—	▲8,372	▲11.2%
完成工事高	44,325	—	60,147	—	15,822	35.7%
期末繰越工事高	270,400	100.0%	264,744	100.0%	▲5,656	▲2.1%
（リニューアル工事）	54,037	20.0%	77,604	29.3%	23,566	43.6%
（産業施設工事）	141,372	52.3%	138,708	52.4%	▲2,663	▲1.9%
（海外工事）	13,588	5.0%	37,911	14.3%	24,322	179.0%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 期首繰越工事高は増加した一方、受注工事高が減少したこと及び完成工事高が増加したことを受け、期末繰越工事高は減少しました。
- しかしながら、産業施設工事や医療関連施設などの大規模案件及び海外案件を中心に、期末繰越工事高は引き続き高水準で推移する見込みです。

2026年3月期
第1四半期決算

2026年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期			2026年3月期			前期対比 通期	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	第2～4四半期 (予想)	通期 (予想)	増減	増減率
期首繰越工事高	—	—	239,861	—	—	258,400	18,539	7.7%
受注工事高	74,864	206,407	281,271	66,492	216,508	283,000	1,729	0.6%
期末繰越工事高	270,400	227,861	258,400	264,744	275,055	281,400	23,000	8.9%
完成工事高	44,325	218,407	262,732	60,147	199,853	260,000	▲2,732	▲1.0%
完成工事総利益	5,731	35,618	41,349	14,610	31,890	46,500	5,151	12.5%
完成工事総利益率(%)	12.9%	16.3%	15.7%	24.3%	16.0%	17.9%	2.1p	—
営業利益	1,725	21,312	23,037	9,703	13,797	23,500	463	2.0%
営業利益率(%)	3.9%	9.8%	8.8%	16.1%	6.9%	9.0%	0.3p	—
経常利益	2,125	21,354	23,479	10,066	13,734	23,800	321	1.4%
経常利益率(%)	4.8%	9.8%	8.9%	16.7%	6.9%	9.2%	0.2p	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,306	16,137	17,443	6,885	10,715	17,600	157	0.9%
当期純利益率(%)	2.9%	7.4%	6.6%	11.4%	5.4%	6.8%	0.1p	—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	—	17.4%	—	—	15.9%	▲1.5p	—

業績予想の前提

- 2025年5月9日に発表した決算短信から変更はございません。
- 受注工事高は第1四半期は減少しましたが、第2四半期以降に受注増を見込んでおり、通期では増加の見通しです。
- 4Pの通り、第1四半期は一部大型工事において採算が大きく改善したことから完成工事利益及び利益率が大幅に増加、上昇しました。一方で、第2四半期以降は業績が前期並みに推移する見込みであり、加えて一般管理費などの固定費の増加が引き続き見込まれることから、通期の業績予想に変更はありません。
- Phase2《磨くステージ》の2年目として業績予想を達成し、Phase2最終年の2027年3月期につなげてまいります。

株主還元に対する方針

- 当社は、健全な財務体質の構築に努めると共に、経営上の最重要施策である株主への利益還元を進めてまいります。
- 2025年5月9日発表の「中期経営計画「磨くステージ」業績目標および財務戦略指標の見直しに関するお知らせ」の通り、さらなる利益還元及びより安定的な配当政策を進めるため、2026年3月期より「**配当性向40%以上かつ純資産配当率（DOE）4.8%を下限**とすること」を新たな配当方針としております。
（前回公表比+0.8pt）
- 上記方針に基づき、2026年3月期の年間配当金予想は、普通株式1株につき普通配当165円となります。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	52.00	111.00	163.00	7,032	40.1%	7.0%
2026年3月期（予想）	82.00	83.00	165.00	7,130	40.2%	6.4%

The background is a solid dark blue. On the right side, there are several overlapping, semi-transparent light blue shapes that resemble stylized, thick curved arrows or segments of a circle, pointing towards the right. These shapes are layered, with some appearing in front of others, creating a sense of depth.

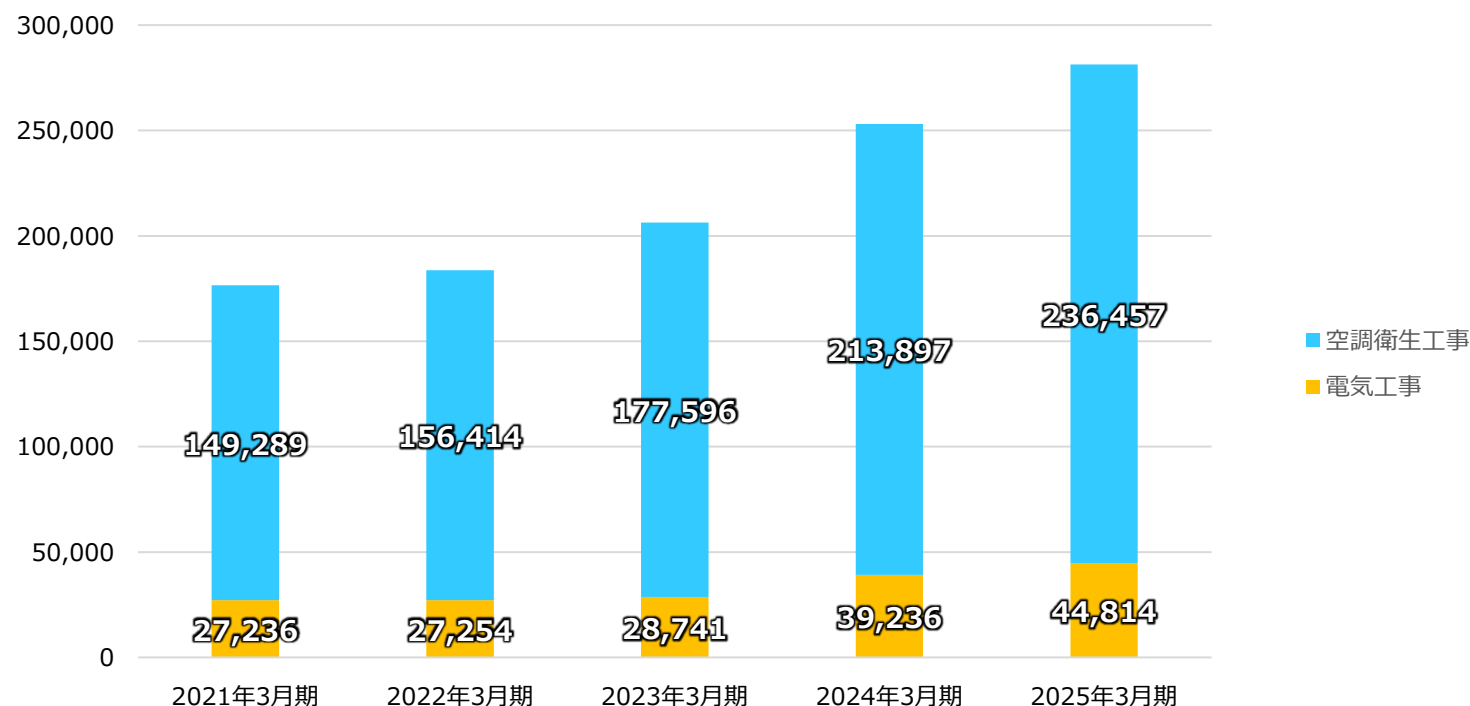
<参考>
DATA FILE
〔通期〕

（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
空調衛生工事	149,289	156,414	177,596	213,897	236,457
電気工事	27,236	27,254	28,741	39,236	44,814
合計	176,526	183,668	206,337	253,134	281,271

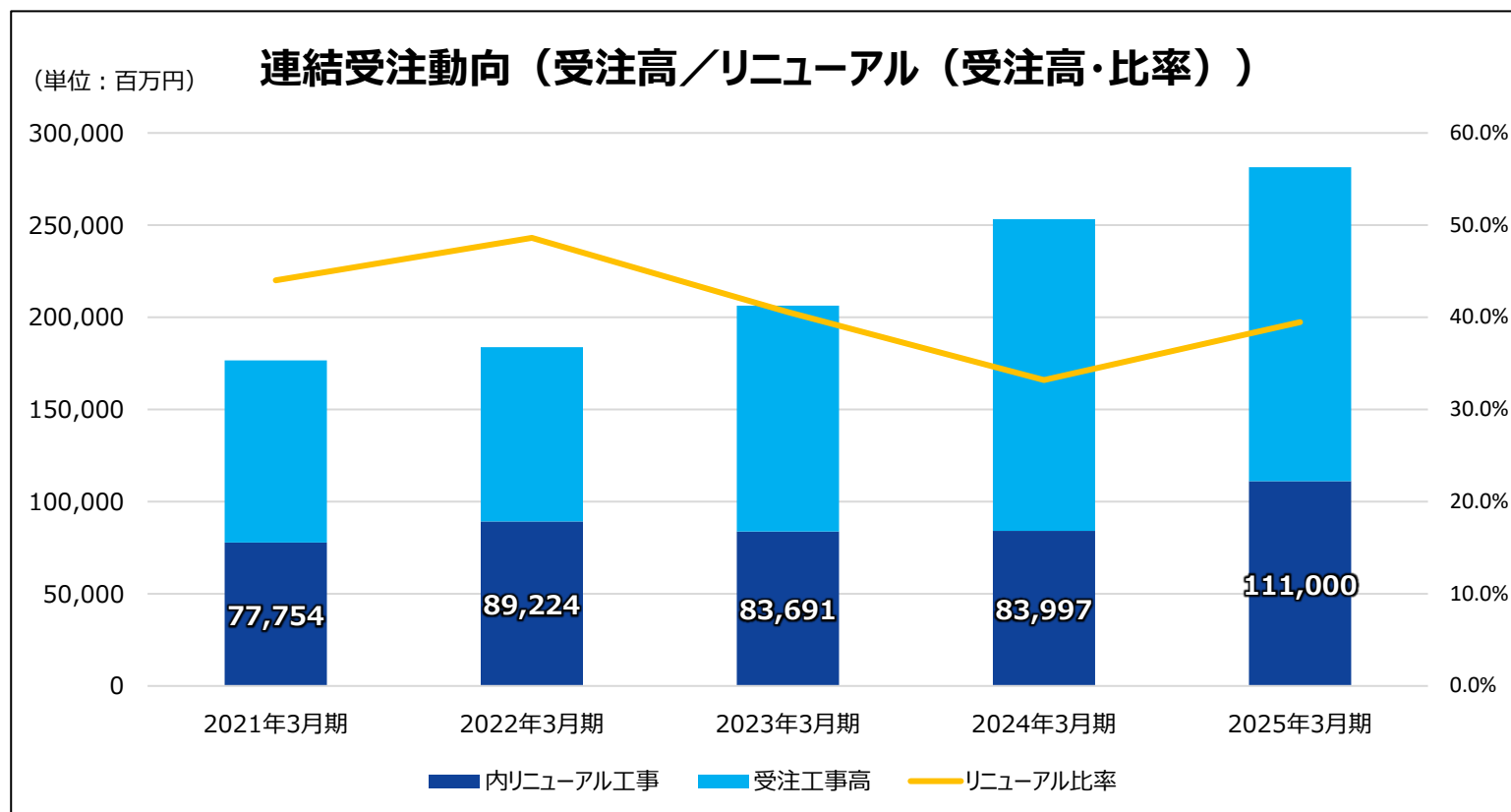
（単位：百万円）

連結受注工事高（工種別）

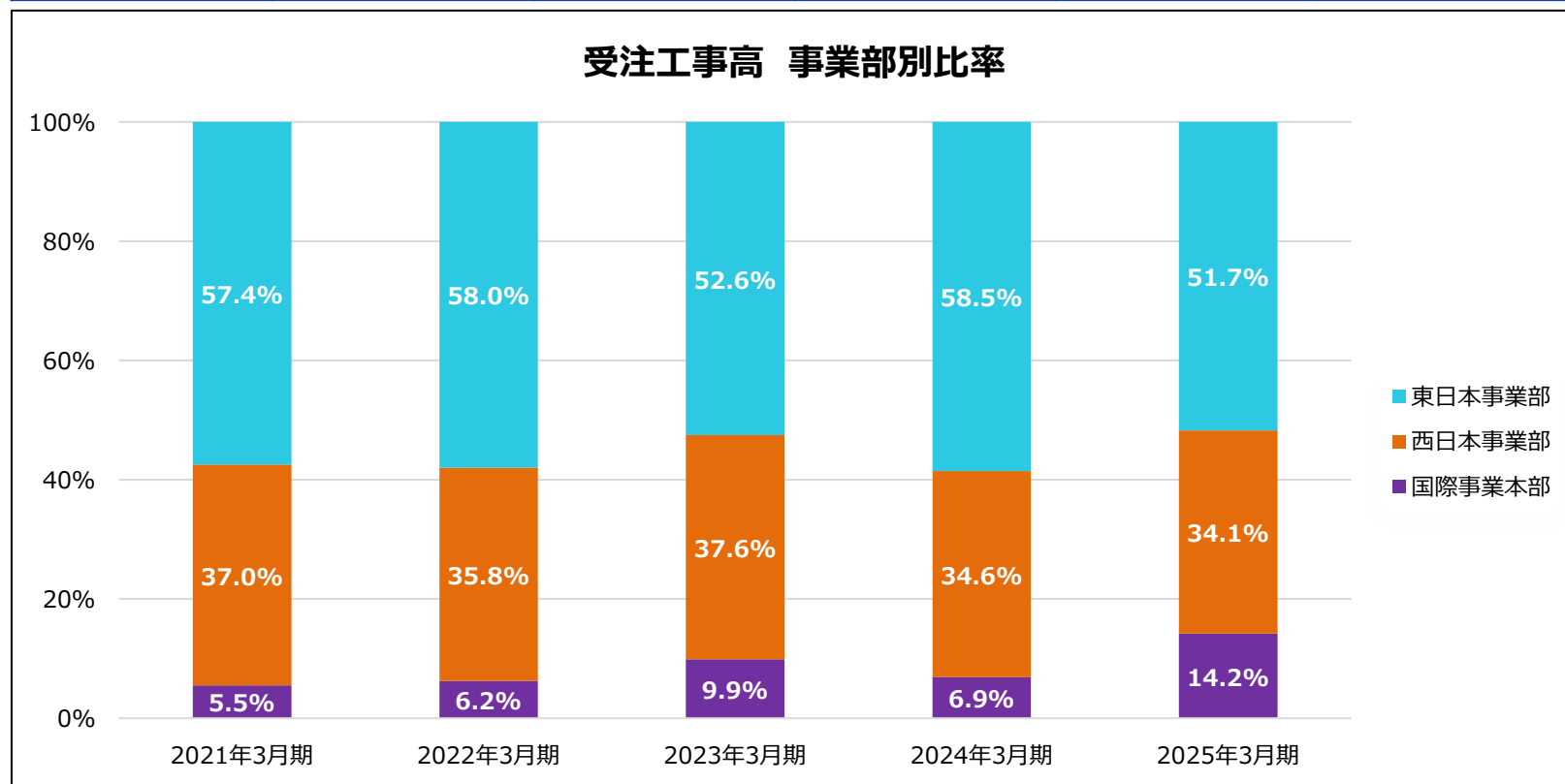


（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
受注工事高	176,526	183,668	206,337	253,134	281,271
リニューアル工事	77,754	89,224	83,691	83,997	111,000
リニューアル比率	44.0%	48.6%	40.6%	33.2%	39.5%

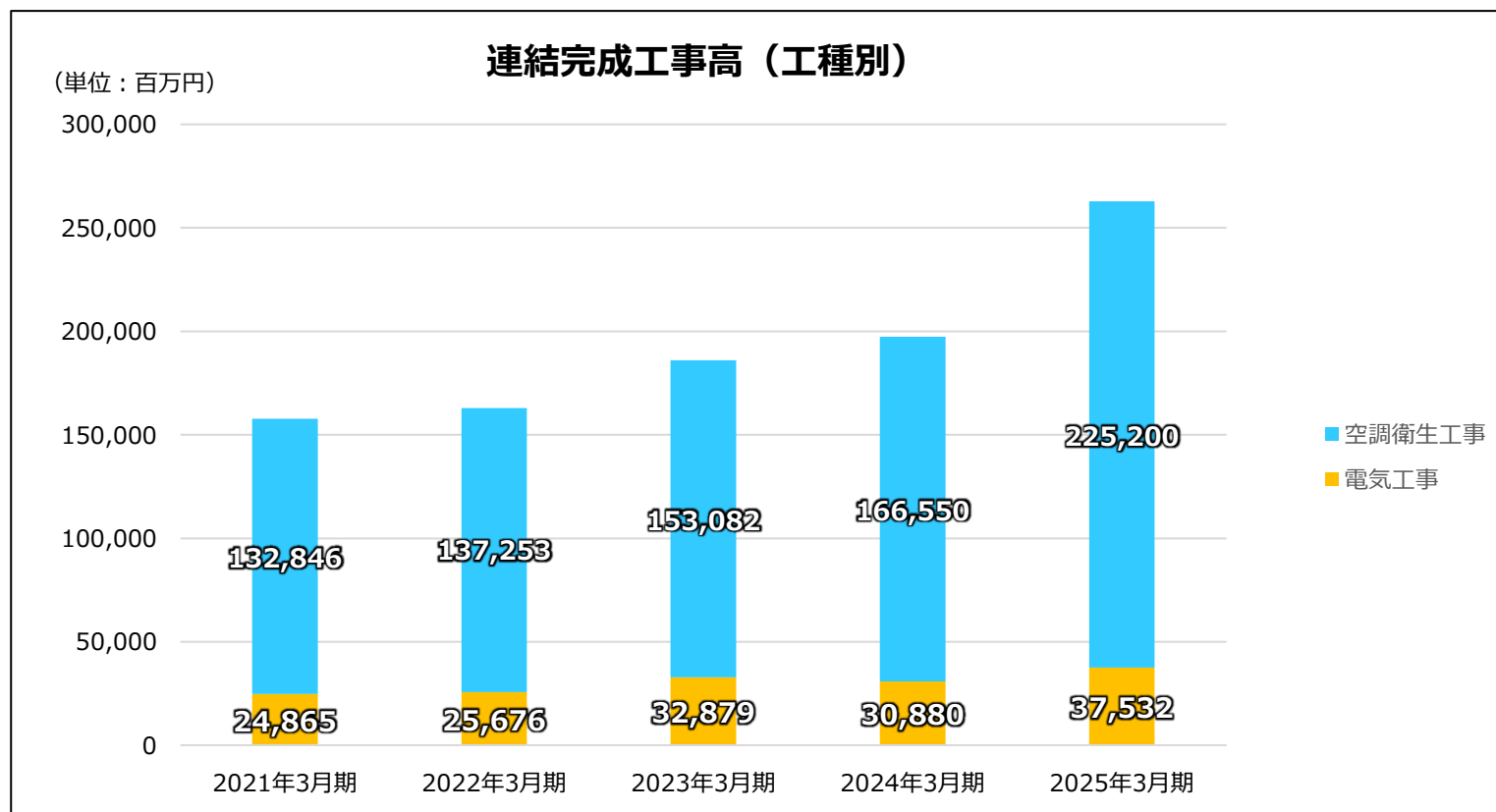


	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
東日本事業部	57.4%	58.0%	52.6%	58.5%	51.7%
西日本事業部	37.0%	35.8%	37.6%	34.6%	34.1%
国際事業本部	5.5%	6.2%	9.9%	6.9%	14.2%

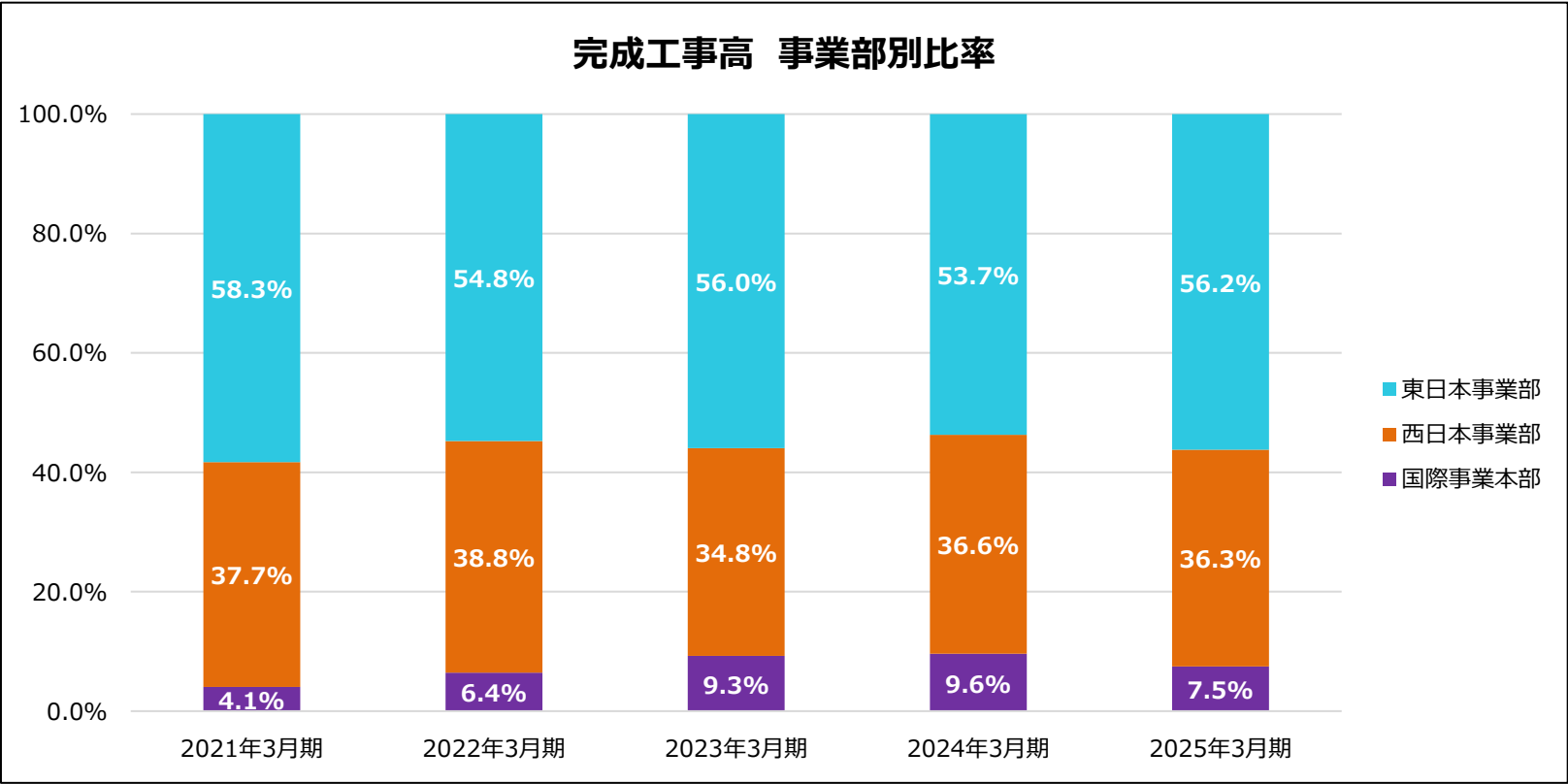


（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
空調衛生工事	132,846	137,253	153,082	166,550	225,200
電気工事	24,865	25,676	32,879	30,880	37,532
合計	157,712	162,929	185,961	197,431	262,732



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
東日本事業部	58.3%	54.8%	56.0%	53.7%	56.2%
西日本事業部	37.7%	38.8%	34.8%	36.6%	36.3%
国際事業本部	4.1%	6.4%	9.3%	9.6%	7.5%

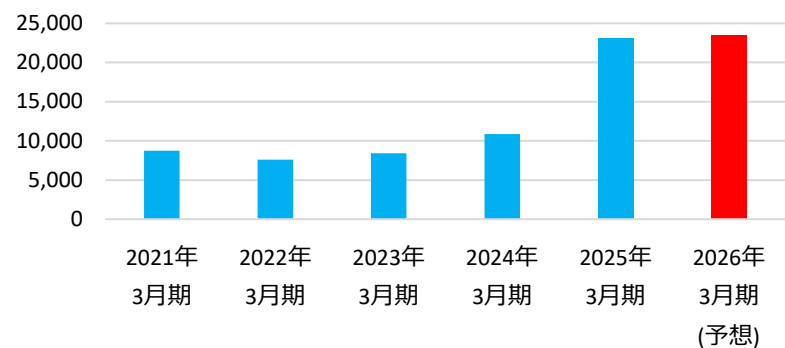


（単位：百万円）

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期 (予想)
営業利益	8,754	7,584	8,428	10,877	23,037	23,500
経常利益	9,262	8,095	9,288	11,918	23,479	23,800
当期純利益	6,318	5,778	6,626	9,087	17,443	17,600

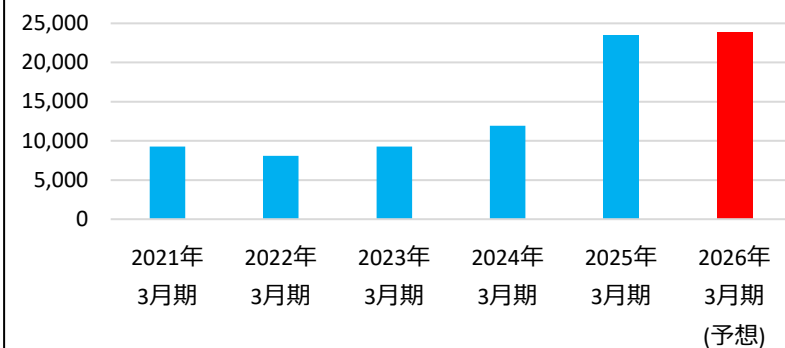
営業利益

（単位：百万円）



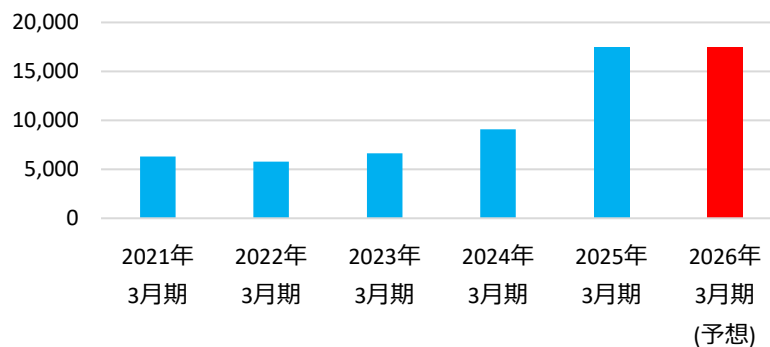
経常利益

（単位：百万円）



当期純利益

（単位：百万円）



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

社長室 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10